

長期増分費用モデル研究会（第61回）

日時：平成29年12月

場所：持ち回り

< 議事次第 >

- 1 開会
- 2 モデル見直しの評価
- 3 閉会

< 配付資料 >

- 資料1 モデル見直しの評価（PSTN-LRICモデルとIP-LRICモデルの試算結果等）

モデル見直しの評価

(PSTN-LRICモデルとIP-LRICモデルの試算結果等)

各モデルの試算結果(接続料原価への影響)

- 改良PSTNモデルは、電力設備等の耐用年数の見直し等により5%の減少。
- 改良IPモデルは、交換機等のIP化、ネットワーク構成の見直し、それに伴うデータ系サービスとの設備共用等により33%の減少。

■各モデルの接続料原価への影響(平成29年度接続料算定ベース)

	現行(7次)PSTNモデル	改良(8次)LRICモデル	
		改良PSTNモデル	改良IPモデル
接続料原価	1,242億円	1,182億円 (▲60億円、▲4.8%)	832億円 (▲410億円、▲33.0%)

※カッコ内は現行PSTNモデルと比較した場合の差額及び比率。

